

I 人口ビジョンについて

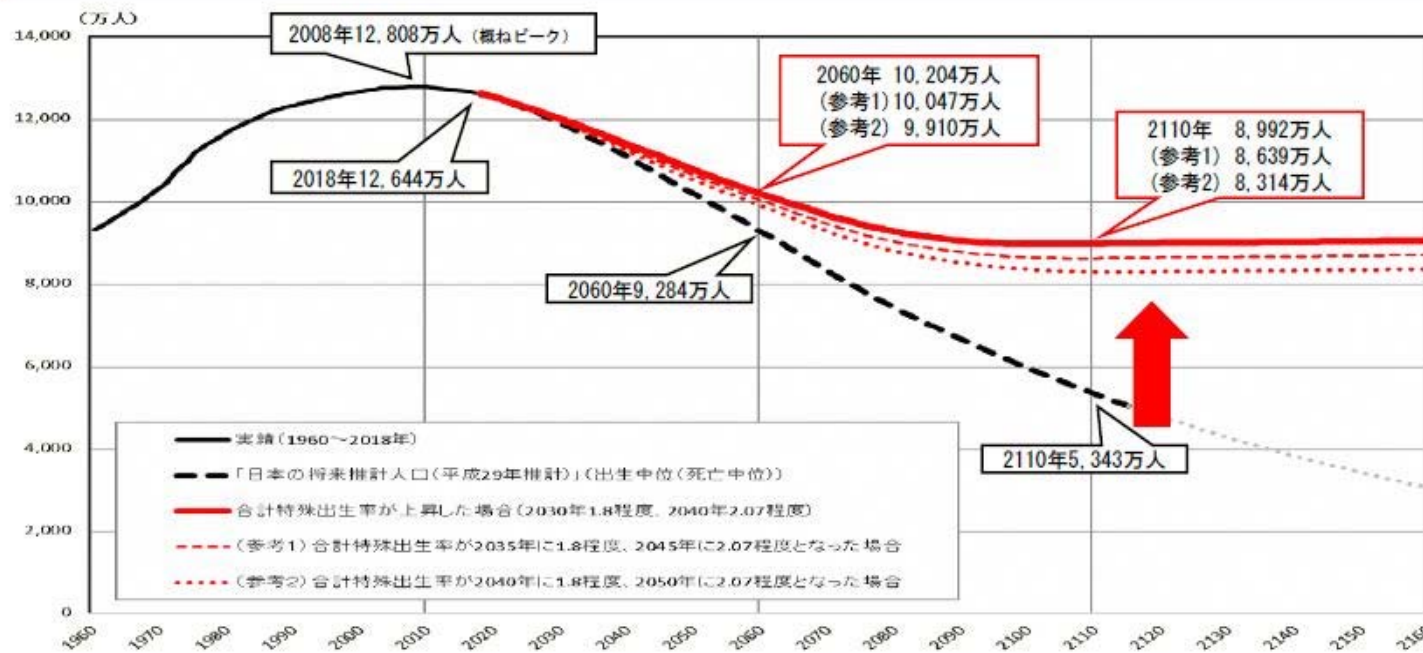
1 国の考え方

国は、第1期の長期ビジョンで、「2060年に1億人程度の人口を維持する」とした長期展望について、「大きな変更はなし」としています。

(国の総合戦略は12月に閣議決定予定)

我が国の人口の推移と長期的な見通し [暫定推計]

- 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」(出生中位(死亡中位))によると、2060年の総人口は約9,300万人まで減少すると見通されている。
- 仮に、合計特殊出生率が2030年に1.8程度、2040年に2.07程度(2025年には1.6程度)まで上昇すると、2060年の人口は約1億200万人となり、長期的には9,000万人程度で概ね安定的に推移するものと推計される。
- なお、仮に、合計特殊出生率が1.8や2.07となる年次が5年ずつ遅くなると、将来の定常人口が概ね300万人程度少なくなると推計される。



※合計特殊出生率は、2030年に1.8程度、2040年に2.07程度まで上昇するとした推計

2 市の考え方(案)

(1) 人口推計及び現状分析

本市の人口は、現総合戦略策定時の推計と比較して、人口減少に歯止めがかかっていないものの、改善傾向にあります。また、国は長期展望を、大きな変更なしとしていることから、2040年の人口について、23万5千人程度を確保するという、現総合戦略の将来展望を維持します。

(2) 合計特殊出生率について

本市の合計特殊出生率については、県平均(2017年1.41)を上回り、全国平均と同水準となっております。この現状や、国の数値などと整合を図りながら、人口展望を行います。

婚姻率の向上に向けた取り組みや、子育てしやすい環境づくりを継続して進め、出生率の向上を図ります。

【長岡市の出生数と長岡市・全国の合計特殊出生率の推移】

※出典：出生数：厚生労働省「人口動態統計」に基づき作成。合計特殊出生率：新潟県「福祉保健年報」に基づき作成

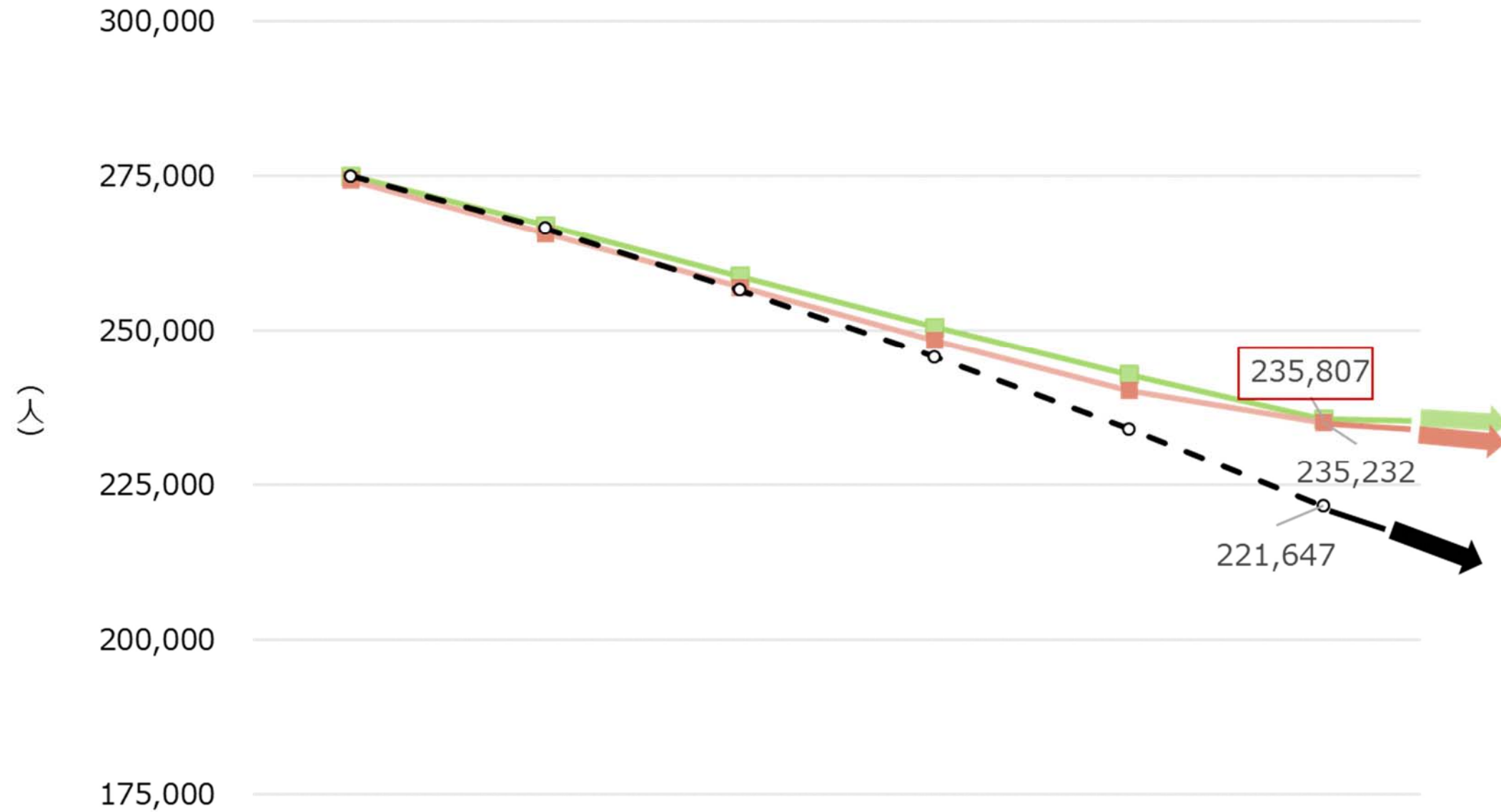


(3) 若者にとって魅力あるまちづくりの更なる推進

本市の社会減は改善傾向が見られますが、若者の職業・学業等による転出は続いています。引き続き、若者の首都圏や新潟市への転出を抑制するため、若者にとって魅力あるまちづくりを進めます。

長岡市の人口の長期的な見通し（案）

・長岡市の将来展望と社人研推計の比較



	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
■ 長岡市の人口の将来展望（新戦略案）	275,133	267,145	258,895	250,672	242,985	235,807
■ 長岡市の人口の将来展望（現戦略）	274,510	265,884	257,145	248,529	240,393	235,232
○ 国立社会保障・人口問題研究所推計	275,133	266,677	256,721	245,840	234,213	221,647

（※）長岡市の人口の将来展望（新戦略案）の算定方法

合計特殊出生率が1.45（2015年値）から段階的に上昇し、2040年に2.07に到達。（2.07は、国が安定的な人口推移のために、2040年の合計特殊出生率として示している数値）

若年層（10～39歳）について、2035年に若年層全体で社会増減0の均衡に至り、その後段階的に社会増。